

EU Indicators

欧州経済指標コメント：10-12月期英国GDP（速報値）

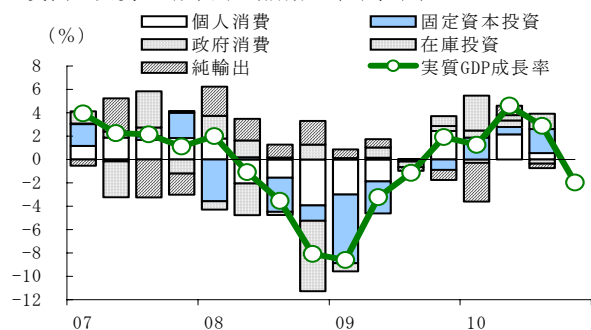
発表日：2011年1月25日（火）

～寒波到来と住宅市況の軟化が響き、5四半期振りのマイナス成長～

第一生命経済研究所 経済調査部
主任エコノミスト 田中 理
03-5221-4527

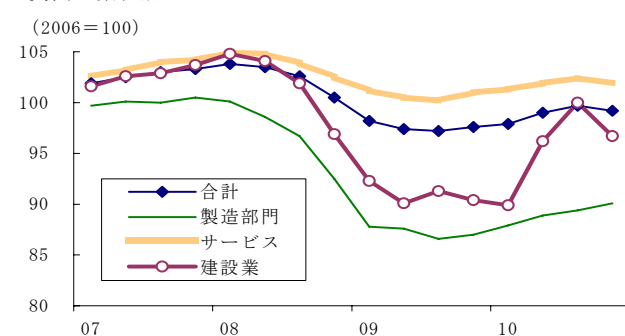
- 10-12月期の英国の実質GDP成長率は前期比▲0.5%、同年率▲2.0%と事前のコンセンサス予想（前期比+0.5%）を大きく下振れ、5四半期振りのマイナス成長となった。業種別の内訳は、製造業が前期比+0.9%と前期（同+0.5%）から再加速した一方、サービス業が同▲0.5%と5四半期振りのマイナスとなったほか、建設業が同▲3.3%と大幅に落ち込んだ。こうした姿はPMI指数など月次統計で確認されていたが、サービス業・建設業の落ち込みが予想以上に大きく、製造業の再加速ではカバーし切れなかった。21日発表の12月の小売上統計の不振からも分かる通り、クリスマス商戦時の記録的な寒波到来で個人消費が不振に終わったほか、住宅市況軟化の影響が現れた建設業活動にも一段の下押し要因となった。需要項目別の内訳は2月25日の一時改定値の結果を待たねばならないが、民間部門の設備投資が最加速した一方で、個人消費、住宅投資、政府消費が何れも大きく落ち込んだ模様。
- 今回の落ち込みは天候不順の影響が大きく、景気は依然として回復基調にあると判断。但し、天候不順による下押しがなかったとしても、10-12月期の成長率はフラット圏で低迷していた可能性が高い。1月からのVAT税率引き上げ前の駆け込み需要が小幅にとどまったことは、1-3月期の個人消費の反動減を軽微にとどめる点でポジティブ。とは言え、財政緊縮による公共投資・政府消費の削減は今後本格化するとみられ、先行きの景気回復ペースは緩慢なものにとどまる可能性が高い。

■英国：実質GDP成長率（前期比年率、%）



出所：英国家統計局

■英国：業種別GDP



出所：英国家統計局

■英国GDP（前期比年率<%>、括弧内は寄与度<%ポイント>）

	名目GDP	実質GDP	内需				外需			
			個人消費	政府支出	固定資本投資	在庫	輸出	輸入		
09/1-3月期	▲ 9.7	▲ 8.6	(▲ 9.3)	▲ 4.6	▲ 3.1	▲ 31.2	(0.1)	(0.7)	▲ 25.5	▲ 25.8
09/4-6月期	▲ 5.9	▲ 3.2	(▲ 3.9)	▲ 2.9	0.6	▲ 16.5	(0.9)	(0.7)	▲ 6.9	▲ 8.8
09/7-9月期	4.2	▲ 1.1	(▲ 0.8)	▲ 0.0	▲ 0.7	0.2	(▲ 0.5)	(▲ 0.3)	3.5	4.4
09/10-12月期	5.3	1.9	(2.8)	3.8	1.8	▲ 5.8	(0.8)	(▲ 0.8)	15.5	17.7
10/1-3月期	7.4	1.2	(4.5)	▲ 0.4	2.7	13.1	(3.0)	(▲ 3.3)	▲ 3.5	8.6
10/4-6月期	4.2	4.6	(3.8)	3.3	2.5	4.2	(0.4)	(0.8)	12.8	8.4
10/7-9月期	3.7	2.9	(3.3)	0.8	▲ 1.5	14.1	(1.3)	(▲ 0.4)	6.1	6.9
10/10-12月期	-	▲ 2.0	-	-	-	-	-	-	-	-

出所：英国連邦統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。